

留学体験レポート

国際学部 2年 野澤美夏理

1 はじめに

まず、私の留学体験を書く前に、私がなぜ留学へ行こうと決めたかについて述べます。1番の理由は、奨学金制度が充実していたことです。アメリカコースでは30万の奨学金を受けられました。また、自分の価値観を少しでも変えてみたいと思ったことも理由の1つです。私は今まで海外へ行ったことがなかったため、留学へ行って海外の人々や文化にじかに触れたいと思いました。このレポートでは特に、大学生活や行事・課外活動について書きます。これから留学へ行こうと思っている後輩のみなさんの参考にしてもらえたらと思います。

2 大学生活について

留学先の大学に到着すると、授業では初めにクラス分けのテストが行われます。このテストで、その後の自分の留学生活での授業・勉強が決まってくるので、留学へ行く前に勉強をして対策をしておいた方がいいと思います。また授業の中では、エッセイ執筆やプレゼンテーションを行うため、ノートパソコンが必須です。私は持っていなかったため現地で借りましたが、日本語表記が使えないなど少し不便だった面があったので、余裕があれば早めに準備した方がいいと思います。また、私たちはこの留学生活では寮生活をしました。初めは留学生メンバー同士で部屋が割り当てられます。ですが、外国人と一緒に部屋になって語学力を高めたいなど希望がある場合は、申請すれば部屋を変えることが可能です。

3 アクティビティについて

私たちが参加した IEP のプログラムでは野球観戦や Thanksgiving に伝統料理を食べるなど、アメリカの文化・伝統を学ぶ行事が用意されていました。特に、伝統料理の中でもパンプキンパイが格別に美味しく、アメリカでの忘れられない味になりました。また、fall break には友人とカンザス・シティに小旅行に行きました。人生で初めてアイススケートを体験し、良い思い出になりました。授業以外では、課外活動を積極的に計画しなければ外国人と話す機会が少なくなります。日本人が多く参加している JSO というグループに入り学校行事に参加したり、カンパセーションパートナーやアクティビティバディーズと遊ぶ計画を立てたりしました。



〈パンプキンパイ〉

4 おわりに

この留学を達成できたのはアメリカの人たち、日本の人たち、留学メンバーの皆さんのおかげです。実際に留学に行ってみると想像以上に大変だったり、忘れられないような体験ができたりと、忙しくてあっという間でした。この留学で学んだことを、今後の生活に活かしていこうと思います。